

みどり森インタープリターの“四方山（よもやま）話”

さいたま緑の森博物館（通称：みどり森）のインタープリターによる四方山話のコーナー。みどり森で起こった出来事や面白いこと、ビックリしたことなどを、各号スタッフが持ち回りでお届けします。

「里山での涙もろい日々」

今号の担当：小川結希（ゆうき〜）

人は歳をとると涙もろくなるもので、私もすっかり涙もろくなりました。映画や本、家族の言動、景色など……。散歩しているちびっ子を見ただけで泣けてくることもあります。そんな私の涙もろさは、みどり森でも発揮されます。最近（5〜6月）では、次のようなことで目頭を熱くしました。

カエルの旅立ち



5月に、成体（大人の姿）になったばかりのアズマヒキガエルが池から続々と上陸しました。その大きさなんと1cm弱。気づかれずに踏まれてしまっているものも多中、ある1匹が道脇で一生懸命跳んでいました。

人に踏まれたり、へびなど多くの天敵に食べられそうになったりと、過酷な環境に1匹で向き合っているのかと思うと、1人の子の母として辛くなり、そしてこのカエルへのエールが溢れ、涙がポロリとなりました。

幸せなはずの食卓



散策路でよく見るオオヒラタシデムシ（2cmほどの甲虫）。ミミズの死骸などに数匹が群がって一生懸命に食べている姿もよく見かけます。我先に少しでも多く食べようとする勢いに「人間のようにいつでも食事できる訳ではないんだらうなあ」と食べる大変さに思いを巡らせました。

さらにある時、その食事中のまま踏まれてつぶれているのを発見。「食」の大変さに加え、突然の命の終わりに目がじんわりしました。

みなさんの日頃の熱くなった話もぜひお聞かせください

里山の生きものには、現代の私たち人間が忘れてしまった「食う食われる」という生死をかけた営みの中で、命がけで子孫を残します。その一生懸命さが伝わってくるから、泣けてしまうのでしょうか。そんな里山の生きものの姿を、この夏も見逃さないようにしたいです。

さいたま緑の森博物館 利用案内



狭山丘陵の北西部に位置する、里山の自然そのものを展示とした野外博物館です。

HP <https://saitama-midorinomori.jp/>
※ QRコードから開けます

開館時間 9:00~17:00

休館日 月曜日(祝日の場合は開館) 翌日が休館
祝日の翌日、年末年始

所在地 埼玉県入間市宮寺889-1

電話・FAX 04-2934-4396

アクセス 公共交通機関をご利用の場合、
小手指駅南口より西武バス「宮寺西」行き
または「金子駅入口」行き乗車、約25分
「萩原バス停」下車、徒歩約10分

※駐車スペースに限りがありますの電車・バスをご利用ください。



緑の森博物館の 利用ルール

緑の森博物館では、以下の8つのルールを守って楽しく過ごしていただくようお願いしています。

- ① 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生きものをむやみにとったり、傷つけたりしないでください。
- ② 他から持ち込んだ動植物（外来種）を放さないでください。
- ③ 原則として広場や観察路以外の場所に入らないでください。
- ④ 犬などのペットを放さないでください。（フンの後始末もしっかりと行いましょう）
- ⑤ 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。
- ⑥ バーベキューや花火など火を使わないでください。
- ⑦ ゴミは持ち帰りましょう。
- ⑧ ラジコンやドローンは使わないでください。

さいたま緑の森博物館
ニュースレター
Saitama Midori-no-mori Nature Park

はくぶつかんだより
No. 42

じりじりじり…日差しが強くなり、気温も体もホットな季節になりました。気温の高い時間帯に長時間外に出ているのは厳しいのですが、少しでも外に出て「暑いからこそ森の中の涼しさ」「夏ならではのもくもく雲」「夏に出会えるカブトムシやオニヤンマなどの生きもの」「セミや鳥などの夏の音」「可憐な夏の花」を楽しんでいただきたいです。

そして、中面の特集「みどり森のナラ枯れ」や、裏面の四方山話をご覧ください。夏の里山を歩く際の新たな視点の1つに加えてください。



ニイニイゼミ

イベント情報（7~9月）

電話（04-2934-4396）で博物館までご連絡ください。また、当館ホームページからお申し込みできます。

イベント名	実施日	対象、定員等	概要	申込期間
親子はじめの自然観察会「夜の生きもの観察」	7/31(土) 17:00~20:00	対象：小学生と保護者 定員：10名(抽選) 参加費：100円(保険代)	日の暮れた雑木林で昆虫などを懐中電灯を片手に、親子でさがしましょう。	7/1(木)~ 14(水)
親子はじめの自然観察会「夏の昆虫」	8/22(日) 9:30~12:00	対象：小学生と保護者 定員：10名(抽選) 参加費：100円(保険代)	夏の昆虫さがしのポイントを聞きながら親子でさがしましょう。奥深い里山の昆虫にたくさん触れる観察会です。	7/22(木)~ 8/4(水)
里山体験教室「ため池のかいぼりをしよう」	9/11(土) 10:00~12:30	対象：小学生以上 (小学生は保護者と参加) 定員：15名(抽選) 参加費：100円(保険代)	池の水を抜き、底に溜まった泥を取り除く「かいぼり」は、昔から里山で行われてきた大事な管理作業の1つ。水辺の生きもの観察とあわせて、かいぼり体験をしましょう。	8/11(水) ~24(火)
里山ようちえん【オタマ組】	9/15(水) 10:00~13:30	対象：R3年4/1時点で【オタマ組】満2・3歳児と親御さん【カエル組】満4・5歳児と親御さん 定員：10名(抽選) 参加費：親子2名で1,000円、1名追加ごと500円	子どもの成長段階や好奇心に合わせてながら、親子で里山の自然の中で遊びます。お弁当と飲み物持参。お菓子付き。	8/15(日) ~28(土)
里山ようちえん【カエル組】	9/18(土) 10:00~13:30	対象：R3年4/1時点で【オタマ組】満2・3歳児と親御さん【カエル組】満4・5歳児と親御さん 定員：10名(抽選) 参加費：親子2名で1,000円、1名追加ごと500円	子どもの成長段階や好奇心に合わせてながら、親子で里山の自然の中で遊びます。お弁当と飲み物持参。お菓子付き。	8/18(水) ~31(火)
親子はじめの自然観察会「秋の昆虫」	10/9(土) 9:30~12:00	対象：小学生と保護者 定員：10名(抽選) 参加費：100円(保険代)	親子で生きものと一緒に触れ合う観察会。秋ならではの昆虫たちをたくさん見つけてみましょう。	9/9(木)~ 22(水)

★新型コロナウイルス感染症対策によるイベント対応について

各種イベントは、感染症対策のため定員を当初の予定より減らした上、内容の調整を行い実施しております。その他、変更等がある場合には、当館ホームページにてご案内いたします。

また、当館スタッフも感染症対策に努めますが、イベントに参加される際は、ご自身でも感染症対策（マスク着用、手洗い、参加前の検温、消毒等）をお願いいたします。感染防止のための対策に、ご理解ご協力をお願い致します。

散策時の注意事項

夏は昆虫やトカゲやカエルなど、生きもの探しが楽しい時期ですね。来年の夏も多くの生きものに出会えるように、捕まえた場合は、観察した後に元居た場所に返すようお願いいたします。

また、スズメバチが活発になってくる時期でもありますので、散策時には十分お気をつけいただき、巣を発見した場合は案内所にお知らせください。



木があっという間に枯れる森の異変!?

ついに来た…みどり森にナラ枯れ!

「ナラ枯れってなんだろう。聞いたことはあるけどよく分からない。」という人は多いのではないのでしょうか？15年くらい前から時折、新聞やニュースで騒がれている「ナラ枯れ」という現象は、西日本から東北地方まで拡大していて、実はみどり森でも2020年7月頃に園内で発生が確認されました。

『ナラ枯れとは…』

夏なのに、主にミズナラ、コナラなどのブナ科樹木の葉が茶色くなりあっという間に枯れてしまう現象で、「カシノナガキクイムシ」という昆虫が「ナラ菌」という菌を持ち込み、木の中でナラ菌が蔓延することで枯れてしまう木の病気です。

『ナラ枯れが与える影響』

日本全国に広がっているナラ枯れについて、国や都道府県で防除対策を行っているのには理由があります。それは国土の65%を占める森林がもっている、人にとって有益な機能(生物多様性の保全、土砂災害の防止、水源のかん養、保健休養の場の提供など)が損なわれる恐れがあるためです。

『みどり森で考えるナラ枯れ』

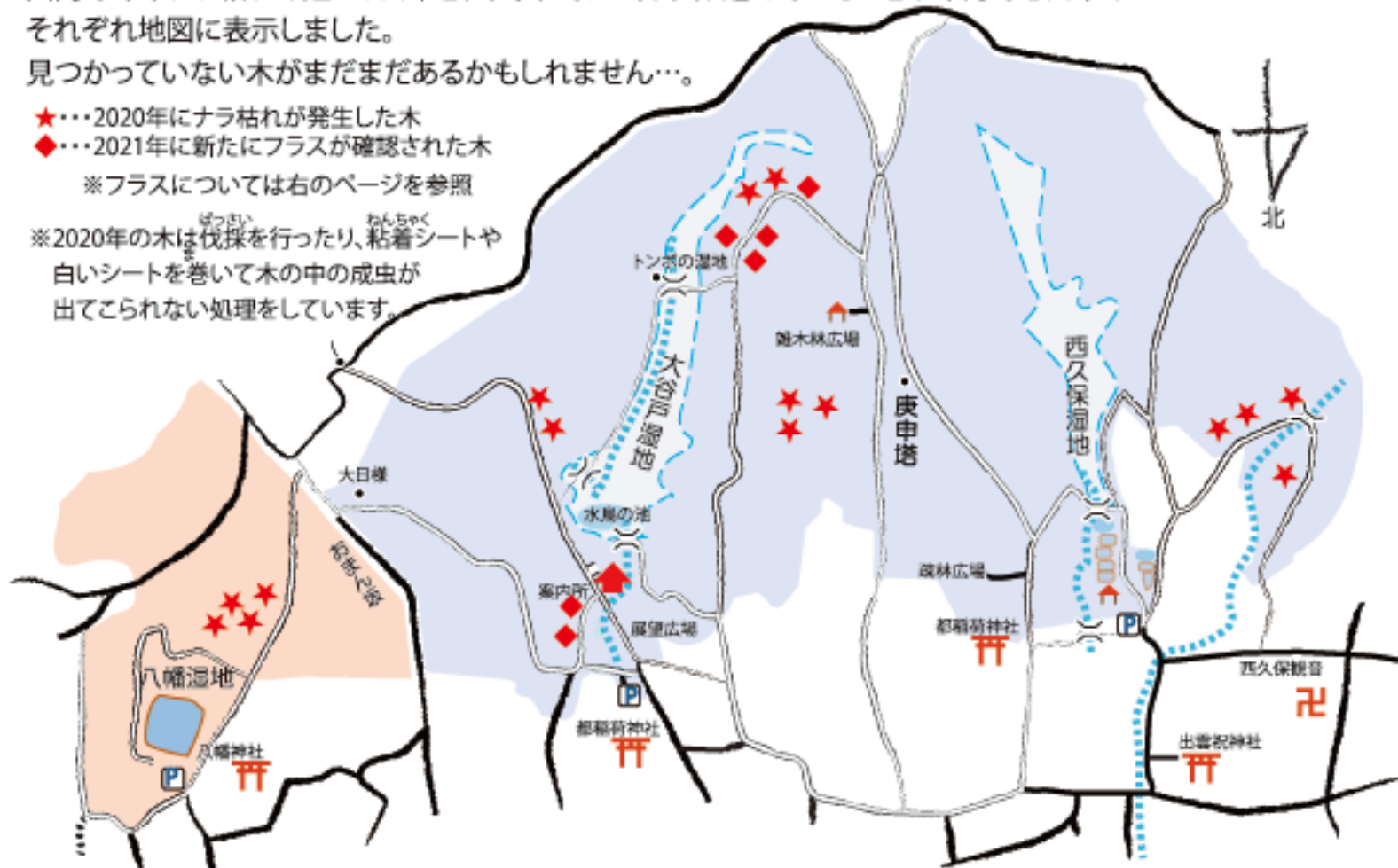
短い期間に多くの木が立ち枯れるナラ枯れは、倒木や落枝の危険性が増します。さらに、みどり森では雑木林を維持管理し、里山の自然環境と文化を伝えることを目的としている施設なので、ナラ枯れによる雑木林の喪失は大きな問題です。また近隣の山地へナラ枯れの被害を広めない為にも、園内の防除は必要だと考えています。

【みどり森ナラ枯れマップ】

園内で昨年ナラ枯れを起こした木と、今年すでに虫が入り込んでいることが確認できた木をそれぞれ地図に表示しました。見つからない木がまだまだあるかもしれません…。

- ★…2020年にナラ枯れが発生した木
- ◆…2021年に新たにフラスが確認された木
- ※フラスについては右のページを参照

※2020年の木は伐採を行ったり、粘着シートや白いシートを巻いて木の中の成虫が出てこれない処理をしています。



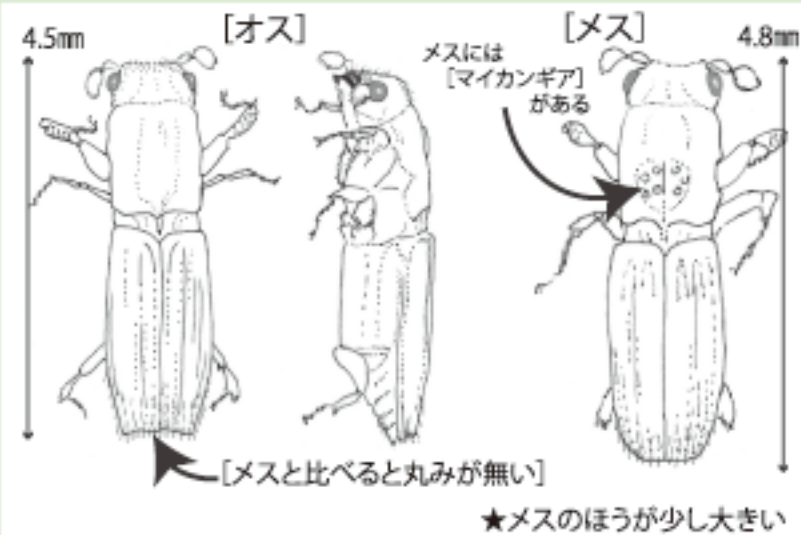
★「この木ナラ枯れ?怪しい!」という木を見つけたらスタッフまでお声がけください!!

【カシノナガキクイムシってこんな虫!】

カシノナガキクイムシ(以下、カシナガ)は、コウチュウ目ナガキクイムシ科の日本に昔からいる昆虫です。成虫の体長は4~5mmの円筒状で、ブナ科樹木の主に老齢木に入り込んで産卵し、成長します。カシナガが最も入りやすい樹種は、ミズナラ、コナラの2種のようなのですが、みどり森では主にコナラやクヌギの大径木、なかでも萌芽更新を行って40~50年たった2又や3又の木を好んで入り込んでいるように感じます。

名前に「キクイムシ」とついています。木を食べているわけではなく、木の幹をかじって空けた穴の中に菌を持ち込み、増えた菌を食べています。メスの背中中には「マイカンギア」と呼ばれる菌を持ち運ぶための穴があります。

- カシナガが入り込むブナ科の木
- コナラ属：コナラ、クヌギ、ミズナラ、カシワ、ブナ、ウバメガシ、アカガシ、ウラジロガシ、シラカシ、アラカシ
- クリ属：クリ
- シイ属：スダジイ、ツブラジイ
- マテバシイ属：マテバシイ 等



【ナラ枯れの症状】

ここでは、「ナラ枯れがどのように進行するのか?」とあわせて「被害木を見つける際に注目すべきポイント」をお伝えします。

【6月~7月】

最初にオス成虫が木に穴をあけて幹の中を掘り進める。その際、幹の表面や根元には、成虫が出す木屑やフンが入り混じった「フラス」と呼ばれる粉が出る。



発見ポイント! 【根元のフラス】



オスが集合フェロモンを含むフラスを出し、仲間に場所を知らせる。

【7月~8月】

フェロモンにつられて大量のオスとメスの成虫が集まり、メスはオスが掘た穴に入りさらに木を掘り進め、大量のフラスが出る。その後メスは産卵をし、このタイミングでナラ菌を木にうつける。



発見ポイント! 【上部の大量のフラス】

別の木でナラ枯れ発生!!

ナラ枯れの流れ

【翌年6月頃~】

枯れた木の中で成長し、冬を越したカシナガが成虫となり脱出し、別の木へと入り込む。



とびだせ~!

木は枯れても木の中はしっかりとっていて、食べる物がいっぱい

発見ポイント! 【葉が茶色くなり立ち枯れる】

【7月~9月】

木の中でメスが持ち込んだ菌が蔓延し、水を吸い上げられなくなって葉が茶色くなり立ち枯れを起こす。(木の状態によっては枯れない場合もある)



参考資料: ナラ枯れ被害をどう減らすかー里山林を守るためにー, 2007年3月30日発行, 独立行政法人森林総合研究所 関西支所, カシナガ君のくらし~カシノナガキクイムシによるナラ枯れのメカニズム~, 高槻市教育委員会 2013年7月発行, 芥川緑地資料館(あくびあ芥川), 昆虫の図鑑 採集と標本のやり方, 2009年9月1日発行, 福田晴男・山下秋彦・福田輝彦・江原憲治・二町一成・大坪修一・中津浩司・塚田 拓